

VOL.02 第38回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 2回戦

真の大学日本一へ



PHOTO:Reiko Iijima

MIKASA

KIRIN
キリンビバレッジ

MIZUNO

DOSHISHA
CORPORATION

mandm

ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！

JUFA
Kansai

発行：関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

国士舘大学

vs

関西大学

国士舘大は、スピード豊かなサイド攻撃で効率よく前線に運び、キープ力と得点感覚を兼ね備えるFW平松宗(4年)を生かしたい。荒木翔ら1年生の新戦力も台頭し、チーム力の底上げにも手応えを感じている。

3年連続出場の関西大だが、関西学生リーグでは前期9節までで9位と苦戦。あっけなく崩れる場面が目立つが、司令塔の和田篤紀(4年)ら人材はそろうだけに、島岡健太監督は「4年生中心にまとまるかどうか」と話す。

新潟経営大学

vs

愛知学院大学

新潟経営大はエースのFW中村太一(4年)が好調。1回戦で1得点1アシストを記録、「ゴールを決めて少し気が楽になった」とさらなる活躍を誓う。中2日の試合だが、劇的な勝利で初戦を突破した勢いで臨む。

7年ぶり出場の愛知学院大は、目指す「つなぐサッカー」で上位進出を狙う。長短織り交ぜたパスで攻撃を操るMF砂井翔太(3年)、大会屈指のドリブラーMF水谷侑暉(3年)らを軸にした分厚い攻撃に注目だ。

Official Goods

第38回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントグッズ販売！

◎イヤホンジャック付ユニフォームストラップ



イヤホンジャック無
販売価格 500円



イヤホンジャックあり
販売価格 700円

◎記念タオル



販売価格 700円

◎公式プログラム



販売価格 1000円

販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

大会記念写真購入のお知らせ

今年も株式会社P&P浜松様のご協力で大会記念パネルや写真の購入が可能になります。

- ・インターネットでのご注文について
ご注文は、キャビネ写真(127mm×180mm)
- ・販売期間 2014年8月23日(土)～2014年10月31日(木)
※8月23日より順次写真を公開予定
- ・ご購入方法

- ①検索サイトで「フォトストア P&P浜松」と検索
- ②ログインフォームにID「60693」・パスワードに「0808」を入力
- ③画面表示される赤いセキュリティコード5文字を入力しログインをクリック

商品の内容に関する
お問い合わせ先

株式会社P&P浜松

0120-55-7979
(9:00～17:00 土・日祝休)



TICKET お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ
(Pコード 683-530)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。 お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。

Match Preview 試合の見どころ

キンチョウスタジアム

15:30 KICKOFF

Reported by 岡田浩幸(読売新聞運動部)

青山学院大学

vs

東海学園大学

青山学院大は関東地区予選で強豪・明治大を接戦の末に破るなど粘り強さが光る。小柄ながら正確な技術を持つMF関谷祐(4年)を軸に、スピードのあるサイド攻撃で好機をうかがう。

2年ぶり出場の東海学園大は昨季、東海学生リーグ優勝、大学選手権8強と着実に力をつけてきた。布陣をコンパクトに保ち、中西健人(4年)、奥村駿(4年)ら自慢の強力アタッカーを生かして初の頂点を見据える。

キンチョウスタジアム

18:00 KICKOFF

Reported by 岡田浩幸(読売新聞運動部)

高知大学

vs

関西学院大学

3年連続出場の関西学院大は攻守のバランスに優れる。関西予選決勝は大阪体育大に逆転勝ちし、天皇杯ではJ1神戸を破るなど勝負強さも光る。2回戦は全日本大学選抜で存在感を見せるFW呉屋大翔(3年)が出場停止だが、MF徳永裕大(2年)、MF泉宗太郎(4年)ら高い技術とスピードのある選手がそろう。

高知大は1回戦を4得点で大勝。関西王者を相手に、野地照樹監督が「うちの最大の武器」と評するMF曾根友祐(3年)、FW有間潤(4年)のドリブル突破から好機を作りたい。

ヤンマースタジアム長居

15:30 KICKOFF

Reported by 滝口憲洋(読売新聞運動部)

法政大学

vs

大阪体育大学

関東大学リーグ2部ながら予選を勝ち上がった法政大が、昨冬の全日本大学選手権を制した大阪体育大に挑む。

法政大は、突出した選手はいないが、主将のDF宗近慧(4年)を柱に結束力は強い。関東予選で延長戦を2度制し、2年連続出場を決めた粘り強さを見せたい。

大阪体育大は、選手権得点王のFW澤上竜二(3年)が得点に絡めるかが鍵。徹底マークは必至で、坂本康博総監督は「周囲を生かす動きやパスも必要」と期待する。

ヤンマースタジアム長居

18:00 KICKOFF

Reported by 岡田浩幸(読売新聞運動部)

専修大学

vs

鹿屋体育大学

地力のある2校が激突する。専修大は激戦区の関東予選を1位通過。FWの仲川輝人(4年)、前澤甲気(4年)ら強力攻撃陣に加え、GK福島春樹(3年)を中心に守備も隙がない。2度目の舞台で、見据えるのは頂点のみだ。

鹿屋体育大は、1回戦・福山大戦では激しい風雨の中でも持ち味の走力、フィジカルの強さを発揮した。2ゴールを挙げたFW米良知記(4年)、司令塔のMF松田天馬(1年)を軸に、関東王者に挑む。

ヤンマーフィールド長居

15:30 KICKOFF

Reported by 滝口憲洋(読売新聞運動部)

流通経済大学

vs

福岡大学

前回大会の準決勝と同じ顔合わせとなった1、2回戦で屈指の好カード。

連覇を狙う流通経済大は、果敢なプレスで主導権を握りたい。フランス留学から戻ったMF中村慶太(3年)にも注目。切れ味鋭いドリブルを武器に個の力で局面を打開できる。

福岡大は、DF大武峻(4年)らJリーグの特別指定選手5人を擁し、2009年以来の優勝が目標。長身選手が多く、DFラインやセットプレーの強さは圧倒的だ。

ヤンマーフィールド長居

18:00 KICKOFF

Reported by 風間徹也(読売新聞運動部)

駒澤大学

vs

阪南大学

駒澤大は出足の鋭い守備から、MF小牧成亘(4年)ら両サイドがスピードに乗った攻撃を繰り出す。夏場の戦いにも秋田浩一監督は「運動量で上回らないと勝てない。積極的に戦いたい」と一戦必勝で臨む。

阪南大は7得点で初戦に大勝したが、須佐徹太郎監督は「4年生がフリーズすると流れが悪くなる」と気を引き締める。1回戦で先制点を決めた後に運動量の落ちたFW河田篤秀(4年)らの奮起が重要になりそう。

Match Review Result & Report

Reported by 風間徹也(読売新聞運動部)

近畿大学

vs

新潟経営大学

堅さの見られた前半を終え、後半に試合が動いた。均衡を破ったのは、風下に立っていた新潟経営大学。51分、ゴールキックをFW15、斎藤瑠世(2年)が頭で前につなぐ。そこに走り込んだFW10、中村太一(4年)がドリブルで前に運ぶと、GKの動きを見極め、「相手の寄せが甘かったので狙った」とゴール右へ豪快に蹴りこんだ。近畿大も61分、CKからDF19、白岩海斗(1年)がどんぴしゃりのヘディングシュートを決めて追いつき、しばらく一進一退の攻防が続いた。しかし、ドラマは試合終了間際に待っていた。新潟経営大が左サイドから上げたクロスがゴール前の中村太一が触り、こぼれ球を途中出場のFW16、木村陸人(1年)が泥臭く決勝ゴール。新潟から全部員約90人で遠征し、喉をからして応援を続けたスタンドは歓喜に包まれた。ただ、久々の初戦突破にも、新潟経営大の杉山学監督は冷静だった。「選手たちは、まだ怖がってプレーしているように見えた。だから、あり得ないミスもあった」。目標は8強入りした2007年の成績を超えること。中村太一も「自分たちのつなぐサッカーでゲームを支配し、もっと好機を作りたい」と2回戦に向けて気持ちを引き締めた。

2014年8月8日(金) 15:32キックオフ 会場/キンチョウスタジアム 天候/曇 入場者数/492人			
近畿大学	1	0-0 1-2	2 新潟経営大学
61分 白岩海斗(東森翔大)	得点 (アシスト)	51分 中村太一 90分 木村陸人 (中村太一・田中優)	



Reported by 風間徹也(読売新聞運動部)

阪南大学

vs

札幌大学

阪南大にとっては、スコアほどの楽勝ではなかった。3分にFW13、河田篤秀(4年)が鮮やかな先制ミドルシュートを決めるなど20分で3点リードを奪いながら、その後は気が緩んだのか反撃に遭った。前半に1点返され、51分に札幌大のMF13、池田一起(2年)にゴールを決められると1点差に。阪南大の須佐徹太郎監督が「3点目を許さなかったのがポイントだった」というほど苦しい立場に追い込まれた。だが、関西学生リーグで首位を快走するチームには底力があった。選手交代で攻撃陣を次々に入れ替えて活性化を図ると、そこから4連続得点。FW37、山ロー真(1年)が交代出場直後の65分にゴールを決めると、疲れの見える札幌大から更に2点をもぎ取り、89分にはMF19、八久保颯(3年)がとどめの7点目を突き刺した。須佐監督は「2回戦のことを考えて、本当は山ロー真らは使いたくなかったんだけど……」と苦笑いしながらも、「苦しんだあの時間帯があったのは、次の試合に向けて(気を引き締める意味で)良かったかもしれない」と終盤に爆発した選手たちを満足げに見つめた。勝って兜の緒を締める——。収穫たっぷりの初戦になった。

2014年8月8日(金) 18:00キックオフ 会場/キンチョウスタジアム 天候/雨 入場者数/264人			
阪南大学	7	3-1 4-1	2 札幌大学
3分 河田篤秀(堀川雄平) 17分 オウンゴール 20分 山崎康太 (河田篤秀・田淵大貴) 65分 山ロー真 (外山凌・河田篤秀) 74分 成田恭輔 76分 金明俊(河田篤秀) 89分 八久保颯(山ロー真)	得点 (アシスト)	27分 阿部太紀(菅原康介) 51分 池田一起(阿部太紀)	



第38回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントメッセージ企画

トモニタタカオウ！ ～あなたの想いを選手に届けよう～

監督・選手からのメッセージ企画はご覧になりましたか(^^)?

スタンドからもメッセージを書いてピッチへ届けませんか!?

撮影した写真は関係者入口や一般ゲートに掲示させていただきます!

応援メッセージを書いて選手と共に闘いましょう!!



一般ゲートにて企画ブースをご用意しています!
メッセージを専用用紙に書いていただき写真を撮らせていただきます
一般ゲートにて皆様のご参加をお待ちしております♡



マンドムプレゼント企画

詳しくは、
右ページをご覧ください!

好プレーに

CLAP

Match Review Result & Report

Reported by 岡田浩幸(読売新聞運動部)

富士大学	vs	高知大学
------	----	------

2014年8月8日(金) 15:32キックオフ

会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/曇 入場者数/191人

勝敗を分けた最大の要因は「経験」だろう。24度目出場の高知大が、試合巧者ぶりを見せつけた。台風接近の影響で強風が吹く中、風上に立った高知大が前半から攻め込む。14分にFW10、有間潤(4年)からの右クロスをMF6、野中祐輝(4年)が頭で押し込んで先制すると、29分には左サイドへの展開からMF7、曾根友祐(3年)が巧みなフェイントで相手DF2人をかわし、右足で蹴り込んで突き放した。富士大は序盤、出足が鈍く、前線の選手もボールを引き出す動きが少ない。それでも前半は布陣をコンパクトに保つことを意識できていただけに、この2失点は重かった。後半は「バランスを崩してでも前に出るしかなくなった」(高鷹雅也監督)という富士大に対して、高知大は冷静に対応しながら、セットプレーから着実に2点を追加した。試合後、富士大の高鷹監督は「高知大は一瞬の隙をきっちり突く。そこがうちと違うなと思った。場慣れしている」と振り返った。高知大の得点時間は、前半の立ち上がりと中盤、さらに後半開始直後と、終盤の80分。野地照樹監督は「いい時間帯に得点できたのが大きかった」と満足げに語った。90分を通じて、高知大の試合運びのうまさがい際立った一戦だった。

富士大学	0	0-2 0-2	4	高知大学
		得点 (アシスト)	14分 野中祐輝(有間潤) 29分 曾根友祐(有間潤) 49分 有間潤(原田亮) 80分 原田亮	



Reported by 岡田浩幸(読売新聞運動部)

鹿屋体育大学	vs	福山大学
--------	----	------

2014年8月8日(金) 18:00キックオフ

会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/曇 入場者数/143人

台風の接近で前半途中から激しい風雨が吹き付ける中、際立ったのは鹿屋体育大の走力と集中力だった。鹿屋体育大は前半の立ち上がりから、猛攻を仕掛ける。2分、中央でパスを受けたFW9、米良知記(4年)が狙い澄まして左足を振り抜く。向かい風の中、威力、コースともに完璧なシュートで先制すると、その6分後には左サイドからのフリーキックにDF32、原亮平(3年)が頭で合わせて、一気に突き放した。この2失点で、福山大はリズムを失った。前線への縦パスから攻撃を作ろうとするが、相手の激しいマークでボールを失う場面が続く。後半はさらに雨足が強まり、福山大が精彩を欠いていく中でも、鹿屋体育大の出足の鋭さ、前線からのプレスは緩まない。本来は丁寧なパスをつなぐスタイルだが、この日は雨中とあってシンプルにゴールを狙うプレーを徹底。MF10、松田天馬(1年)、MF18、中原優生(3年)らが献身的な動きで好機を演出し、青木竜監督は「選手たちがしっかりコントロールしてくれた」とたたえた。高い地力と、的確な状況判断。鹿屋体育大が盤石の試合運びで、2回戦進出を決めた。

鹿屋体育大学	4	2-0 2-0	0	福山大学
2分 米良知記(小谷健悟) 8分 原亮平(小谷健悟) 54分 米良知記(小谷健悟) 69分 三原麻生 (松田天馬・下坂晃城)			得点 (アシスト)	



マンドムプレゼント企画 詳細

—実際に会場で試合を観て、プレゼントをゲットしよう!!—
スタンプが押されていたら、もれなくもらえる!

提供(株)マンドム

- ・各会場入場の際に、無料配布しているプレビューをお受け取りください。
- ・ページ内にスタンプが押されている方は試合終了後ゲートまでお越しください。

※プレゼントの引き渡しの際に、本プレビューが必要となりますのでプレビューは試合終了まで保管していただきますよう、よろしくお願いいたします。

